

<http://csih.sakura.ne.jp/panerutenn.html>

【中部産業遺産研究会の書籍のご案内】

<http://csih.sakura.ne.jp/syoseki.html>

【CONTENTS】

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定【New】

【2】中部産遺研会報第83号の配信について【New】

【3】兵庫県立歴史博物館所蔵の双頭レールが産業遺産に【New】

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定【New】

●第168回定例研究会（対面での開催を実施します）

日時：2021年7月25日 13:15～17:00（会場への入室は13:00～）

【当日のレジュメをこのメールに添付致しますのでご確認ください】

会場：とよた市民活動センター

<http://www.toyota-shiminkatsudo.net/>

住所：豊田市若宮町1丁目57番地1 A館 T-FACE 9階（松坂屋豊田店の上）

交通：名鉄三河線 豊田市駅下車 西口を出てすぐ。

愛知環状鉄道 新豊田駅下車 徒歩3分

車での来場の場合は近隣の有料駐車場をご利用下さい。

豊田市中心市街地3時間駐車無料サービスが利用できます。

<http://www.toyota-shiminkatsudo.net/contents/img/guide/access.jpg>

ご注意：手洗い・消毒の実施・マスク着用の徹底が求められていますのでご注意ください。

当日は、「産業遺産研究」第28号をご出席の会員の皆様に配布する予定です。

●第169回定例研究会・見学会

日時：2021年9月26日 日曜日 13:20～

行き先：関鍛冶伝承館

<https://www.city.seki.lg.jp/kanko/0000001558.html>

フェザーミュージアム

<https://www.feather-museum.com/>

刃物会館（時間のある参加者のみの見学になります）

<http://seki-japan.com/guide/>

集合場所：岐阜県関市日ノ出町1-17 関鍛冶伝承館入り口（TEL 0575-23-3825）

長良川鉄道 刃物会館前駅から徒歩約5分

刃物会館前駅を出て、線路沿いの道を美濃太田方面に向かって50m程歩き、国道418号線に出たら左折、100m程東に進み、橋を渡ってすぐ右折し、川沿いに少し歩いたら左側にあります。

集合時間 : 13時20分

交通 : 鉄道の場合 長良川鉄道 美濃太田発(12:54)→刃物会館前着(13:11)
自動車の場合 東海北陸自動車道関インターから約10分

駐車場は伝承館北側の臨時駐車場あり。「せきてらす」の駐車場も利用可

当日の予定 : 「関鍛冶伝承館」で1時間ほど見学の後、「フェザーミュージアム」を見学。
時間がある人は「刃物会館」を見学(15:30~16:00頃に解散)

参加資格 : 当会会員および当会会員と同行する者

その他 : 会場までの交通費および入館料(300円)は各自負担

事前申込 : 不要

ただし、会員以外の同行者がある場合は研究会事務局まで連絡を
yamada202102@gmail.com

注意事項 : 当日、暴風警報発令などが発令された場合は中止とします

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ご入館に際して、以下の事項にご協力お願いいたします。

- ・ご入館の際、体温を測らせていただきます。
- ・手指の消毒にご協力ください。※入口に消毒液を設置しております。
- ・マスクの着用をお願いします。
- ・館内での会話は最小限をお願いします。
- ・館内での長時間の滞在はご遠慮ください。
- ・混雑時は入場制限を行う場合があります。

※以下のお客様は、ご入館をお断りさせていただきます。

1. 発熱(体温37.5℃以上)や咳、くしゃみ、鼻水など風邪の症状があるお客様や、体調がすぐれない

お客様。また、ご家庭や職場など身近に新型コロナウイルス感染症の感染者、もしくは感染の可能性

のある方がいらっしゃるお客様。

2. マスク非着用のお客様。

3. その他、見学する場合の密集・密接・密閉・衛生対策が守れないお客様。

(関市鍛冶伝承館 HP からの転載)

●シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第39回 開催延期(日程未定)

【2】中部産遺研会報第83号の配信について【New】

中部産遺研会報第83号が完成しましたが、ホームページへの掲載が7月26日頃になる見込みです。

そこで、1 ページ目 7 月 25 日開催の定例研究会に係る最終ページのみをこのメールに添付致します（全ページ（7MB）を電子メールで配信すると配信エラーになるため）。

中部産遺研会報第 83 号が中部産業遺産研究会のホームページに掲載されたタイミングで、改めて皆様にご案内を差し上げます。

【3】兵庫県立歴史博物館所蔵の双頭レールが推薦産業遺産に【New】

兵庫県立歴史博物館（姫路市）は、所蔵する二つの双頭レールが産業遺産学会の産業遺産に認定されたと発表しました。このレールは、旧三越大阪店（大阪府中央区、1917 年完成）の基礎で使用されていたもので、大阪店の解体工事を施工した長谷工コーポレーションが発掘したものです。レールの一つは 1870 年、もう一つは明治 10 年代（1877～86 年）初頭に英国で製造されたもので、我が国の鉄道黎明期の史料としても価値が大きいと評価されました。

通常のレールは上端が丸くそこが平らなのに対し、双頭レールは上下両端とも丸いのが特徴です。日本では 1872 年に鉄道が初めて開業した新橋～横浜間と、1874 年開業の大阪～神戸間で双頭レールを使用しました。1877 年開業の京都～大阪では通常のレール（現在の形状）を使うようになりまし

た。所蔵品のレールに記されたマークから、1870 年の英国ダーリントン社製で、当時の日本政府が発注したことが判明しました。もう一つは、英国シェルフィールドにあるキャンメルシャが製造したことがわかりました。1880 年開業の天津～京都間で一時的に双頭レールの使用が復活しており、この区間で使われたレールであると判断されました。

双頭レールの発見者は鹿島建設 OB の故・高嶋三郎氏で、1969 年開業の大阪市営地下鉄（現・大阪メトロ）堺筋線北浜駅の建設に携わり、益に隣接する三越大阪店の基礎に古いレールが使われていることを確認、調査の必要性を訴えていました。

同博物館では本年 9 月から 2023 年 3 月まで休館し、大規模改修工事を行う予定で、その工事が完了したあとに、常設展示品の一つとして双頭レールを見学できるようにするとのこと

です。この詳細は、6 月に開催された産業遺産学会の研究発表会において、兵庫県立歴史博物館の学芸員、鈴木敬二氏により発表されました。

この内容が YouTube に動画としてアップロードされましたので、ご案内致します。

<https://www.youtube.com/watch?v=l4DJ0HMAvgg>

--



中部産業遺産研究会のニューズレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様に Google グループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 会報編集委員・広報幹事 橋本 英樹

Home Page URL : <http://csih.sakura.ne.jp/> E-mail : hidekih@wine.plala.or.jp Copyright 2002-2018

The Chubu Society For The Industrial Heritage, Allrights reserved.



このメールは Google グループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。

このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには

csih+unsubscribe@googlegroups.com にメールを送信してください。

このディスカッションをウェブ上で閲覧するには、

<https://groups.google.com/d/msgid/csih/000001d77fa7%240331f2b0%240995d810%24%40wine.plala.or.jp> にアクセスしてください。

中部産遺研 第 168 定例研究会

2021/07/25 (日)

とよた市民活動センター 参加:()名

設備品:マイク、スピーカー、プロジェクタ、スクリーン

司会 () 記録 ()

13:00

始めて参加の会員紹介

事務局 (分)

総会の議案書に関する説明と表決のお願い

事務局 (20 分)

1. 研究報告、調査報告

[168-11-01] 「ドローンを活用した産業遺産調査の展望」 柘植芳之 (40 分)

[168-11-02] 「葛利毛織工業の産業遺産調査と文化財登録」 岩井章真 (40 分)

[168-11-03] 「復元鍛冶工房の開設と今後－産業遺産の保存活用の視点から－」 天野武弘 (40 分)

[168-11-04] 「産業遺産の見方・調べ方」 シリーズ「造幣局の硬貨圧印機の研究」を事例として
石田正治 (40 分)

2. その他諸報告、保存問題など

[168-21-01] 「 」 (分)

[168-22-01] トピックス（産業遺産に関する話題・近況など） 事務局（30分）

・
・
・

3. 研究誌、会報（研究会ニュースレター）

[168-31-01] 研究誌『産業遺産研究第28号』の編集について 石田正治（2分）

[168-31-02] 中部産業遺産研究会報について 石田正治（2分）

[168-31-03] 会報ニュースレター 電子メール版について 橋本英樹（1分）

4. シンポジウム・パネル展・その他事業

[168-41-01] シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第39回 予定 八田健一郎（10分）
テーマ「生かそう身近な産業遺産」
実行委員会予定

[168-41-02] パネル展と講演会 藤田秀紀（1分）
会場となる名古屋都市センターが改修工事で使用できないため中止。
勉強会予定

[168-41-03] ものづくり再発見ウォーキング 山田富久（2分）

[168-41-04] 書籍編集検討委員会 石田正治（10分）

[168-41-05] WEBサイトの運営と管理 岩井彰真（10分）

5. 見学会、その他の催し物

[168-51-01] 関鍛冶伝承館・フェザーミュージアム見学会（第169回） 事務局（5分）

日時：2021年9月26日（日）

集合時間：13時20分

集合場所：岐阜県関市日ノ出町1-17 関鍛冶伝承館入り口（TEL 0575-23-3825）

長良川鉄道 刃物会館前駅から徒歩約5分

交通：鉄道の場合 長良川鉄道 美濃太田発（12:54）→刃物会館前着（13:11）

自動車の場合 東海北陸自動車道関インターから約10分

駐車場は伝承館北側の臨時駐車場あり。「せきてらす」の駐車場も利用可
行程：「関鍛冶伝承館」に1時間ほど見学の後、「フェザーミュージアム」を見学。

時間がある人は「刃物会館」を見学（15：30～16：00頃に解散）

参加資格：当会会員および当会会員と同行する者

その他：会場までの交通費および入館料（300円）は各自負担

事前申し込み不要

（ただし、会員以外の同行者がある場合は研究会事務局まで連絡を 080-3644-1989）

暴風警報発令などで休館となった場合は中止

6. 文献紹介、資料紹介（ ）内は紹介者 (5分)

【参考文献】

[168-61-01] (事務局)

【参考資料】

[168-61-02] (事務局)

【その他の資料】

(事務局)

[168-61-03] 「KINIAS ニュースレター」近畿産業考古学会

[168-61-04] 「ニュースレター」東京産業考古学会

[168-61-05] 「九州産業考古学会報」九州産業考古学会

7. 出版広報事業

[168-71-01] インターネット <http://csih.sakura.ne.jp/> 左記です。一度ご覧下さい。

[168-71-02] 中部産業遺産研究会の書籍出版事業 石田正治 (2分)

8. 委員会、役員会、研究分科会

[168-81-01] 幹事会・役員会等 事務局 (2分)

- ・4月18日に2020年度第2回役員会を実施（名古屋市民活動センター集会室）

内容：今後のスケジュール確認、総会議案、会計・書籍、シンポジウム、パネル展、編集検討
委員会設置について、中部産業遺産研究会著作権規程について、WEBサイト運営、その他

- ・必要の都度メールで実施

[168-81-02] シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第39回 実行委員会 事務局

[168-81-03] パネル展の勉強会 事務局

[168-81-04] 研究誌『産業遺産研究第 28 号』編集委員会
・必要に応じて電子メールや電話にて開催

事務局

9. 事務局関係

[168-91-01] 会員異動（前回の定例研究会以降）
入会（敬称略）：中川洋、夏目欣昇

事務局（2分）

[168-91-02] 2021 年度会費納入のお願い

事務局（分）

2021 年度分の中部産業遺産研究会の年会費について、まだ振り込み頂いていない方は、納入頂
けますようお願いいたします。

1. 金額 4, 000 円
2. 振込口座 三菱UFJ銀行 鳴海支店
普通預金 1531266
中部産業遺産研究会 会計係 加藤真司(かとう しんじ)
*振込手数料は会員様のご負担でお願いいたします。
領収書は振込票にて代替させていただきます。
3. 問合せ口 会計担当 加藤真司 < ssmkatou@hm9.aitai.ne.jp >

[168-91-04] 書籍・資料等交換会

事務局（5分）

会員の不用になった関連書籍や資料を希望者へ引き継ぎます

[168-91-05] その他

[168-91-06] 研究会スケジュール、関連団体スケジュール、他

事務局（1分）

2021 年

- ・ 07/25(日) 13:15~17:00 第 168 回定例研究会 豊田市市民活動センター
- ・ 09/26(日) 13:20 集合 第 169 回見学会 関鍛冶伝承館など
- ・ 11/日付未定 第 170 回定例研究会

17:00 終了予定

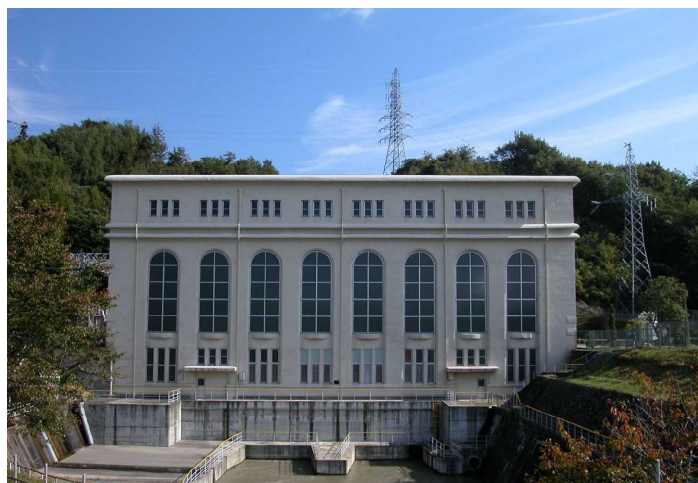
産業遺産紹介 IH-CSIH-060

みなかた 南向発電所

所在地：長野県上伊那郡中川村葛島

1926(大正15)年3月、天竜川の水力開発を計画していた伊奈電気鉄道、天竜電力など9社は協定を結び合同中、天竜川電力(株)を発足させた。代表取締役後に電力王と呼ばれた大同電力の福沢桃介が就任した。

天竜川電力による第1期工事は、大久保発電所と南向発電所であった。大久保発電所は天竜川本流に堰堤を築いて建設した最初の発電所(出力1,500kW)で、1927(昭和2)年に完成した。この大久保発電所の電力は、南向発電所の工事用電力として使用され



【写真1】南向発電所 (2004/10/22撮影)



【写真2】南向発電所の発電用水車ランナ (2004/10/24撮影)

た。南向発電所は、1927年7月に着工し、1929年1月に完工し、同年2月の大同電力施工の送電線の竣工により発電を開始している。

南向発電所は総出力24,000kW、発電用水車はスウェーデンのボービンク社製フランシス水車、発電機は、英国ブラウンボーベリー社製三相交流発電機で、当時、最高の技術で建設された発電所であった。

南向発電所の水槽の壁面には福沢桃介揮毫の「水然而火」が掲げられている。「電気を起こし、産業を興隆して国豊にして国民の文化を高める」という電力王福沢桃介の電気事業にかけた熱い思いが込められている。(文・写真：石田正治)

中部産遺研会報 第83号 目次

1. 産業遺産紹介／石田正治	-----	1
2. 人造石の産業遺産を歩く(8)／天野武弘	-----	2
3. 鋼鉄の街シェフィールドの産業遺産／石田正治	-----	9
4. 第29回総会について	-----	19
5. 第168回定例研究会案内	-----	19
6. 2021年度年会費、編集後記、原稿募集	-----	19

第29回総会について

2021年5月16日（日）に名古屋市市民活動推進センターにて、開催予定されていた第29回総会は、愛知県にCovid19の対策として「緊急事態宣言」が発令されましたので中止となりました。

今年度も昨年と同様に、総会議案については、書面決済とし、別途案内いたしますので、よろしくお願いいたします。

第168回定例研究会 案内

期日：2021年7月25日（日）13:00～17:00

会場：とよた市民活動センター

（松坂屋・A館T-FACE 9階）

アクセス：名鉄三河線 豊田市駅下車 西口を出てすぐ、または愛知環状鉄道、新豊田駅下車、徒歩3分。 電話：0565-36-1730

内容：

研究報告・調査報告

■岩井章真：「葛利毛織工業の産業遺産調査と文化財登録」

■柘植芳之・大野泰伸：「ドローンを活用した産業遺産調査の展望」

■石田正治：産業遺産の見方・調べ方シリーズ「造幣局創業期の硬貨圧印機に関する調査研究」

■天野武弘：「復元鍛冶工房の開設と今後一産業遺産の保存活用の視点から」

その他、保存問題、会員の近況報告などを予定。

※マスク着用などコロナ対策をお願いします。

2021年度年会費ご入金のご案内

1. 年会費 4,000円

2. 振込口座

銀行支店 三菱UFJ銀行 鳴海支店

種別 普通預金

口座番号 1531266

口座名 中部産業遺産研究会 会計係

加藤真司(かとう しんじ)

※2021年度年会費を上記口座にお振り込み下さい。

なお、会計担当は、昨年度より加藤真司です。

■編集後記、原稿募集

■編集後記

新型コロナウイルスCovid19がなお猛威をふるっていますが、第168回定例研究会が開催となりましたのでご参加下さい。

今号の連載記事は、天野武弘会員の人造石の産業遺産めぐりシリーズは第8回目、石田の海外産業遺産めぐりの旅シリーズ第10回目です。

次号も引き続き掲載の予定です。ご期待下さい。

(石田)

■産業遺産に関する諸情報、短信、文献紹介、ご意見などお気軽にご投稿下さい。投稿は郵送または電子メールでお送り下さい。写真には必ず撮影者と撮影日時を記載したメモを貼り付けて下さい。

原稿送付先：石田正治 ishida96@tcp-ip.or.jp

第84号の原稿締切日：2021/9/15

■「中部産業遺産研究会会報」発行予定

第84号（2021/10/15） 第85号（2022/01/15）

第86号（2022/04/15） 第87号（2022/07/15）



中部産遺研会報 第83号

ISSN 2189-5619

Newsletter of The Chubu Society For The Industrial Heritage Vol.83

発行日：2021年7月20日

発行人：黒田光太郎

編集委員：石田正治・橋本英樹・山田貢・大橋公雄・浅野伸一・朝井佐智子

中部産業遺産研究会事務局：

〒463-0088 名古屋市守山区鳥神町194 山田貢方

中部産業遺産研究会のホームページ <http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

掲載記事の無断転載を禁じます。

Copyright 2021, The Chubu Society For The Industrial Heritage, All rights reserved.